



# 常任委員会 研究対策委員会 振興協議会

## 歩みと 展望

### 総務・環境

原子力発電の安全性について  
原子力の少ない日本の国でエネルギーの必要性を認めない人は少ないと思いますが、一方で安全性を強調しない人も少ないと思います。またイデオロギーに關係なく各国の核兵器、核燃料等の核に関する場合は、われわれが知らされていなくても非常に多く存在し、特に知らされていない場がどれだけの数あるかわかりません。

核兵器に関して意見を述べる  
ことができないすなわち自由がない国でもあります。このような核の世の中でわれわれは経済性と安全性のバランスを考へるべきではないのでしょうか。

議題の安全性については、いかに十分に安全対策を講じておられるかが重要であることは危険が完全になくなることはあり得ないことです。自然科学と社会科学の中で、機械や組織が故障する確率をゼロにすることは自然の法則に反することであり、予測不可能な事故が起こるのが自然であります。科学は人類に多くのものを恵んでくれましたが、また科学は危険を教えてくれました。原子力関係者は、危険な場で仕事をしておられますが、特にこのことを絶えず忘れないでほしいと祈るものです。

### 建設

建設常任委員会所管のうち懸案事項として早急に解決しなければならぬ事項は数多くありますが、中でも皆さまの要望が特に強いと思われる問題は、最近の交通事情から国道二十七号線のバイパスと下水道建設であろうと考えております。

まず夏季はもろろんのこと四季を通して通勤時における国道から市街への道路混雑を、一日も早く解決すべきであります。現在着手している市役所横から若高テニスコート、南川に架

### 産業経済

橋して府中、和久里の間を通る道路、小浜線貫線及び伏原、神田、海岸通りへ達する臨海線の建設を地方の協力を得て完成いたしたいと考えます。

また、下水道の建設とこれに伴う終末処理場の設置も近代都市の緊急課題であり昨年度においては基本計画、今年度計画決定されましたが、これまで百数十億の事業費の縮減財政削減もあり市の財政事情を考へながら一歩一歩進めていかねればなりません。

皆さまの協力と市当局の一層の努力を期待すとともに議会においてさらに研究努力して市政の発展に寄与いたします。

### 教育民生

飛躍的な技術進歩があるものと期待しております。

この上は皆さま方の御協力と河川や海水の汚濁、汚染を除きつつ、沿岸漁家の皆さまの特段の努力によつて、斯業の興隆発展を期するものであります。

### 文 教

海のある自然の家をキャッチフレーズに理事者とともに誘致運動を繰り広げ、県でも誘致の準備としてすでに用地二十ヘクタールの買収、小浜市街地の道路建設、野球場（四百人収容）の整備を終え決定を待っていた国立少年自然の家着工が本日より、本年度近畿地方建設局で行なわれていた実地調査による基本設計に基づき来年度に着工され、昭和六十年度を完成目標としております。

本年度近畿地方建設局で行なわれていた実地調査による基本設計に基づき来年度に着工され、昭和六十年度を完成目標としております。

計画では、総工費二十億円で百二十ヘクタールを整備し、この中に管理棟、四百人収容の宿泊施設や多目的ホールを備えるほか野外施設としてリエンターリング場やサイクリングコース、ハイキングコース、キャンプ場海水浴場などが整備される。完成が予定される昭和六十一年には恵まれた自然の中で研修や集団生活、レクリエーションと幅広く利用できる青少年の楽園が誕生することになる。

### 外 港

小浜漁港修築事業は、年々大型化していく船舶に対応するため昭和四十八年第五次漁港整備

計画、さらに昭和五十二年からは第六次漁港整備計画によつて建設が進められ、今年度末には防波堤、東防波堤等の一部を残り、すでに完成している沖防波堤を含め、岸壁造成地の埋め立てが完了し、来年度以降残された護岸防波堤と道路行事が行なわれ、昭和五十八年には開港の予定を待っている。

### 小浜・上中

本年度一億八千五百万円の調整費の予算づけが決定したので、五十五年度ももつて前後取りつけ道路も完成して五十六年度より供用の開始ができる見通しである。ただ舗装は未施工であるが五十六年度に舗装新設事業の要望をしており五十六年度には施工できる見込みである。

国道三〇三号線について  
水俣線開通閉鎖事業は当地方の重要な振興策として漁業関係の重要施設として建設された福井県の開閉を待って積極的な促進運動を展開して得る水俣トンネルは間もなく着工できると期

待っています。  
小浜線電化については、小浜線電化は旧来のまま単線のため輸送力の増強を促進し、さらに電力供給地域として電力還元をはかる上から電化の実現運動を強力に進めている。

### 小浜・大飯

現在格づけされている予定線から調査線に格上げし基本計画に組み入れられるよう積極的な運動を続けている。

湖西線について  
現在格づけされている予定線から調査線に格上げし基本計画に組み入れられるよう積極的な運動を続けている。

### 小浜・名田庄

道路の整備は地域開発並びに発展の最も基本的な問題であり、国道一六二号線は小浜市、名田庄村と京阪神を結ぶ産業道路として、また、観光道路として重要な路線である。

議会においてこの重要な道路の改良整備に国民に強く陳情をし地域発展のため一層の活動を努力を重ねておられる次第であります。現在、口田縄池の改良が進み、本年度予算で田嶋橋の整備の予定、そして須藤までの道路改良に整備され、小倉、久坂間、谷口、三重間と改良が進みます。交通暖房をはかる一段とすばらしい一六二号線が将来完成する事になります。

また谷口、田茂谷間で山の上の大きな亀裂があり危険な状態にありますので、危険防止対策としてスノーセットを多く設置する事を積極的に進める方針である。また西相半、三重間、中井、青井間の国道バイパス及び南川河川整備も早期にできるようにしたい。今後皆さまの大切な御指導を仰ぎ格別の御協力をお願いします。

### 小浜・三方

若狭湾国定公園の東西を結ぶ国道二十七号線と併行してリアス式海岸の生み出す天恵の自然美と、秘境の豊饒を満喫させ、同時に沿岸観光開発の促進、二十七号線の交通緩和などに大きな貢献が期待される主要地方道路、小浜、三方、敦賀間の国道昇格は、輝かしい若狭の未来を開く大きな政策課題の一つであります。

いま着々と進行中の小浜外港整備事業、あるいは田島大浜に建設の国立少年自然の家など小浜市飛躍のステータスとなる主要事業との関連や近年国家的注目を集めた国際児童博覧会の将来展望などを含め、大規模輸送を可能とする総合的な交通網整備のために欠かせない重要な一環となっております。



田嶋トンネルの早期完成について

小浜線電化促進期成同盟会

小浜線電化促進期成同盟会